

「生活科・総合的な学習の時間」活動報告

糸魚川市教育研究会生活・総合学習部

1 平成23年度研究推進のテーマ

「人・自然・ものと進んでかかわり、主体的に問題を解決し、自分の考えを表現する子ども」

2 活動内容

- (1) 5月26日(木) 推進部会(年度のテーマ、活動内容の検討)
- (2) 8月19日(金) 教育課程伝達講習会(糸魚川市教育委員会主催・各部共催)
- (3) 11月9日(水) 第1回研修会(田沢小学校「総合的な学習・生活科」研究発表会<県小教研指定研究2年次>への参加による研修)
 - ・公開授業 1年生活科、4・5年総合的な学習の時間
 - ・協議会 低、中、高学年別にテーマに沿って協議
 - ・全体指導 講師:松井千鶴子様(上越教育大学教職大学院准教授)
- (4) 11月16日(水) 第2回研修会(市教研一斉研修「ジオパーク現地研修」)
 - ・ジオサイト現地踏査 小滝川ヒスイ峡 不動滝
 - ・全体指導 講師:富沢ヒサエ様(糸魚川ジオパーク公認ガイド)

3 主な成果

(1) 研究発表会への参加

① 田沢小学校の研究テーマ

研究主題 『豊かにかかわり 自分を見つめ よりよく生きる子どもをはぐくむ』
～2年次研究 探求する子どもをはぐくむ教師の支援を探る～

② 授業公開・研究協議会

1年生活科 「きぼうランドであそぼう」 八木千佳 誉教諭

低学年提案 「気付きの質を高める教師の支援」

・体験活動と自分を振り返る言語活動を位置づけ、自分自身への気付きへと高める場の設定を構想した。大単元「あそびにいこうよ」で年間をとおして身近な公園にかかわり、季節への気付き、友だちの気持ちへの気付き、自分への気付きを引き出す研究であった。

4年総合 「とことん追究 田海川の過去・現在・未来」 山口真人 教諭

中学年提案 「探求的な学習を進める教師の支援 一年間構想や小単元の支援」

・年間構想では春から夏に海を対象とし、五感を使って調査したり地域の人にインタビューをしたりしながら人々の暮らしの変化や保全活動の実態を追究してきた。この力を生かして、海に注ぐ川へと視点を転換しても追究していけるという単元構想を提案していた。

5年総合 「糸魚川100%食材極めクッキング」 横川千恵 教諭

高学年提案 「探求的な学習を進める教師の支援 協同的な学習に着目して」

・他者との協力から課題を追究する原動力を導き出せる、より主体的な活動へと転換できると仮説を立て、友だち、保護者、地域の人との交流を意図的に指導計画に構想した。

(2) 特色ある総合的な学習の時間への取組

- ① ねらい 糸魚川市の特色ある地域素材を扱う「ジオ学習」の推進を図るため、現地を踏査し、地域素材の活用の仕方について研修をする。
- ② 成果
 - ・糸魚川市の24あるジオサイトからヒスイを取り上げ、小滝川ヒスイ峡を踏査。地形的な特色、地質的な特色を直接学習する必要性を実感。
 - ・ヒスイ峡に隣接する不動滝を観光資源としてもとらえることができる可能性。

4 今後の予定

- ・今年度から、部員全員による計画立案の会をやめて部長副部長による推進部会のみとした。このため、共通テーマに沿った各校の実践ができたかどうかの総括をする必要がある。

(文責 糸魚川市立田沢小学校 渡邊寿敏)